

## 病院環境のゾーニング

空気の清浄度をもとに病院内の区域を分けたものを清浄度ゾーニングという。易感染性患者や感染症患者が同時に生活している病院では、このゾーニングは病院感染防止のための環境整備に重要であり、区域に適した清掃を実施する必要がある。清掃担当の作業動線が複数ゾーンにわたる場合、清浄度の高いゾーンから最初に清掃作業する。

	清浄度 クラス	区域	特徴	部屋
医療 ゾーン	I	高度清 潔区域	高度な清浄度が要求され、浮遊微生物、温度、湿度、風速、室内圧などを制御することにより清浄度が維持される。周辺室に対して陽圧を維持しており、HEPAフィルターを用いた室内空気の管理をしている。	バイオクリーン手術室、移植病室
	II	清潔 区域	I に次いで高度な清浄度が要求される。陽圧に維持されている。	一般手術室、中央材料部既滅菌室、無菌製剤室
	III	準清潔 区域	II より清浄度は低い、一般清潔区域より高い清浄度が要求される。IV 以下の区域よりも陽圧に保つ。	回復室、ICU、CCU、NICU、分娩室、心臓カテーテル検査室
	IV	一般清 潔区域	感染症ではない患者、開創状態ではない患者が在室する一般的な区域。等圧でよい。	診察室、一般病室、新生児室、人工透析室、調剤室、理学療法室、X線撮影室、待合室
	V	汚染管 理区域	有害物質を扱ったり、臭気が発生するため、室内空気が室外へ漏れるのを防ぐ必要がある。陰圧を維持。	細菌検査室、感染症病室、RI 管理区域諸室、患者用便所、使用后リネン室、汚物処理室、解剖室
一 般 ゾ ー ン	VI	一般区 域	一般的な居室。等圧でよい。	事務室、医局、会議室、食堂
	VII	汚染拡 散防止 区域	臭気、粉塵が発生するため、室内空気が室外へ漏れるのを防ぐ必要がある。陰圧を維持。	一般用便所、ゴミ処理室